会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業  （２）教職員の資質能力向上の推進　①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第5回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 令和5年12月19日（火）14:00～16:00 |
| 場所 | リファレンス西新宿大京ビル貸会議室 |
| 出席者 | 委　　員：五十部　昌克、沖　直彦、谷　昌一、菊田　薫、  松本　晴輝、山根　大助（OL）、松田　義弘（OL）  林　宏治（OL）、稲永　由紀（OL）、冨田　伸一郎（OL）、  岡村　慎一（OL）　　　　　　　　　　　　　計13名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計14名 |
| 議題等 | 〇年度内残業務の確認（五十部）  ・ヒアリング調査取りまとめ  ・報告書天候の協力先への確認・承認  ・報告書・成果物の作成  ○ヒアリング調査（五十部）  ・11校2団体について調査を実施。  ・12月21日13時〜15時で修正学園訪問が最後、訪問先は山下理事長。視察担当者は五十部、松田にて実施  ○報告書原稿の協力先への確認・承認（五十部）  ・各学校の確認については、本年度中に原稿を各校にお送りし、1月中旬ごろを目処に確認終了をお願いする。  ○報告書・成果物の作成（五十部）  ・調査関係の報告は、職マネのアンケート・ヒアリング、中期結核、学校評価委員会運用見直しを作成する予定。  ・本日は中期計画につい整理を進めた。  ・質問項目と回答を羅列する形にしている状態である。  ・ゴシックでに回答が項目で、明朝で書いている部分が内容となる。この項目を自己点検・評価モデルをどのように反映させるのかが検討してほしい部分。  ・中期計画策定で重視しているのは募集、教育。ついで財務戦略、就職等があげられた。  ・団体へのヒアリングに関しては、学校ヒアリングとは区分して取りまとめる予定。  ーーーーーーーーーーーー意見交換  ・協力していただいた学校への確認は、どのシートで行うのか。（岡村）  ・対象学校ごとに議事録としてまとめられたものがある。これを確認していただく予定。外形的な部分と内容的な部分を区分する必要がある。外形的にはイメージを送り内容的なことは議事録にて確認していただく。（五十部）  ・学校名をABCとマスクするのは学校側からの要望か。（松本）  ・学校からの要望ではない。こちらからの配慮である。公開する際には、学校がわからないようにする。（五十部）  ・現状の状態で各校の責任者の承諾を得られると感じている。（林）  ・報告書として取りまとめるのであれば、学校名はなくてもいらないと感じている。（谷）  ・固有名詞や学校が特定できる記載は外す。（松本）  ・学校名がはじめにリストされているので、あえてABCを入れることは必要ないと思う。（沖）  ・ここに記載した内容は、事実を踏まえて記載している。この事実を踏まえて、考察的な取りまとめがあればいABCの学校区分はなくても良いと思う。（五十部）  ・ABCをつけることで、この後の活用する方法があるならば残した方がいい。（菊田）  ・専門学校において中計をやっているのかが表現できていればいい。したがって学校名は必要ないと思う。（松田）  ・私も松田先生と同じ意見。（冨田）  ・単なる分布がわかれば良いとは思わない。現地の先生方と内容調整する方がいい気がする。（稲永）  ・文書の区分が明確であるべきだと思うので、ABCは残した方がいい。（山根）  ・私も松田さんと同じ意見です。文科省には素直に出すけど、考察などについては公開すべき。（岡村）  ・文科省事業としては、考察だけではなく。全てを公開しなくて良いのか（菊田）  ・中期計画の達成度評価のエビデンスはどうしたら良いか。会議体や議事録があれば良いのではないか。（五十部）  ・何かのモニタリングシートのようなものがあれば良いのではないか。（松田）  ・ロードマップとモニタリングシートなどを示しその議事録があれば良いと思う。（林）  ・教育の内部質保証のところについては、レビューだけではダメでモニターや改善まで届かないといけない。（稲永）  ・モニタリングをする会議体などを設置しているかが重要か。（五十部）  ・チェックだけでなくフォローアップする仕組みができているかが重要であると考える。（稲永）  ・計画にずれがあった時のフォローアップ体制ができていることが重要だと感じている。（五十部）  ・改革・改善をやったかどうかを確認する仕組みを作るのかが重要。改善の行動計画などが必要だと思う。（岡村）  ・募集と教育をどうするかという点が問題だと思ったが、理事会・評議員会などで全ての項目を確認する必要がある。（菊田）  ・理事会・評議員会への報告はやはり必要だ。（岡村）  ・中期計画は、内部質保証システムの構築ではなく学校運営の項目になるのではないか。（菊田）  ・理事会等で審議をすることになると、寄付行為改正などが必要になるのではないか。（松田）  ・令和7年からは評議員会もガバナンスを担う期間となる。（菊田）  ・内部監査に関する項目については、中期計画に入れる必要はあるのか（山根）  ・自己点検評価項目に関しては、あまり細かな項目を立てる必要はないのではないか。次年度以降に中期計画策定手順書の中に織り込むべき項目の検討をしているような気がする。（飯塚）  ・中計については、専修学校について義務化もされていないし、努力義務化もされていない。私もファーストステップぐらいに考える方法がいいと思う。（菊田）  ・2−3−1ぐらいの内容で良いのではないか（山根）  ・2−3−3も付け加えても良いのではないか（谷）  ・情報化システムについては、イメージとして考えてはいるが、具体化は難しい。（松田）  ・情報システムは難しいと思う。（林）  ・私も林先生の意見で賛成です。（冨田）  ・2−6−2は、削ります。（五十部）  〇スケジュール（五十部）  ・第6回委員会  　　令和6年2月6日（火）15:00〜17:00 麻生塾10号館2階 |
| 配布資料 | ・第5回事業推進委員会議題  ・自己点検・評価表2024モデルVer2.1  ・ヒアリング調査取りまとめ |

以上